



A_落ち着いた雰囲気の外観。白壁と大和張りのコントラストが美しい。隣接する実家と裏庭でつながっている。 **B**_腰かけてのんびりお茶を飲んだりおしゃべりしたり、多目的に使用できるワイドなウッドデッキ。コンセントを設置してあり、ホットプレートでもバーベキューが楽しめる。 **C**_落ち着きのある庭もすべてお任せで。外塀は適度な高さがあり近所の目も気にならない。 **D**_ポーチ手前にある宅配ボックスのコーナー。緑と一緒に配することで程よいアクセントに。



No **06**
Example Report
Builder /
湯本工務店
Note /
北信地区 T邸
家族構成 2人

健やかに朗らかに、幸多き家

全幅の信頼が生んだ
多幸感あふれる住まい

板の両端が重なるよう交互に張っていく伝統技法の大和張り。その頼もしくも風格ある佇まいが周囲の景観に趣を添えていきます。ここに暮らすのは20代のご夫婦。結婚前から戸建を希望していたというお二人です。右手に見える奥様の実家の隣に、

「家を建てるなら注文住宅以外考えられませんでした」と奥様。その住み心地の良さは、実家での経験がすべてだったといいます。家族や友人たち、いつも多くの人が集う賑やかであたたかな家。理想とするのは、大好きな実家のような住まいです。そんな思いから、かつて実家を手がけたという湯本工務店に依頼を決めたご夫妻。全幅の信頼を寄せる同社に夢のマイホームを委ねました。

湯本工務店といえば、北信エリアで実に80年近い歴史を誇る老舗です。同社は地元の特化し、家づくりのノウハウや地域を熟知した心強いパートナー。得意

とするのは、敷地の強みはもちろん、その弱みさえも生かす自由設計の住まいです。「プロの知識には到底及びせんから。安心してお任せできました」とご夫妻は笑います。

暮らし始めて半年。お二人が手に入れたのは、木のぬくもりやあたたかな日差し、緑の木々やそよ風を感じる癒しの日常です。自然がもたらす心地良さと多幸感に満たされた至福のひととき。人生の新たな門出に相応しい最高の住まいが完成しました。





居住性を大きく左右する 窓は住まいの要

ご夫妻の希望はオープンな間取りとダウンフロアのリビングでした。そこに湯本工務店の提案で大きな窓を設えました。家の中で快適に過ごすには、窓のあり方にもこだわるべき。それが同社の信念です。ご覧のとおり空間に開放感と自然光をもたら

らし、庭の景観を切り取るピクチャーウィンドーとして室内の居住性を高めています。どこにいても視界に入る庭の光景に、ご夫妻も「気持ちしが和みます」。これほどワイドな開口部ですが、夏の暑さや冬の寒さはどうでしょう。実は同社ではガラスやサッシなど使う素材を適材適所で吟味し、軒や庇を調整することで光や風をうまく取り入れています。もちろんベースにあ

るのは、実績と経験に基づく「土地を読む力」。自然環境を利用した見事なプランニングは、注文住宅を扱う工務店の使命でもあるのです。「これだけ大きな窓があるのに、夏は家の中が涼しく、冬は窓際で冷気を感じることもなく本当に快適です」とご主人。確かな性能の住まいは、季節や天候に左右されることはありません。その居心地の良さから、友人た

ちもみな長居をしようと思っています。「そうした人とのつながりが大切にしていくたくて」と奥様。「改めて日々の暮らしに感謝し、家族や仲間との絆を育む拠点になれば」と話します。こうして築き上げた新居は、誰をも笑顔にさせる憩いの場となりました。それがお二人にとっての喜びであり、元気をチャージする源となるのです。

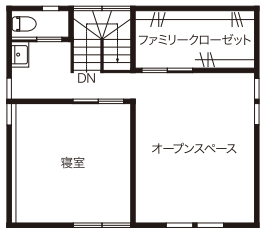


E_木のぬくもりに包まれたダイニング。キッチンに立った時、正面に見える窓からの眺めに毎日癒されているそう。 **F**_段差を利用してあつらえた造作ソファ。奥行きがあり座り心地も申し分なし。 **G**_収納を兼ねた造作のカウンター。シンクの目隠しになるようにと奥様がリクエスト。 **H**_太陽光が入りボカボカと気持ちのいいダウンフロア・リビング。 **I**_来客が多いためダイニングテーブルは広めのものをチョイス。ナチュラルな木のテイストがインテリアともマッチしている。 **J**_リビングダイニングは広すぎず狭すぎず。程よい距離感で、どこにいてもお互いの存在が感じられる。造作ソファはご主人のお気に入りの場所。





P_引き込み障子のおかげで室内はもちろん、外から見ても窓周りはスッキリした印象。庭の木々が季節の彩りを添えている。 Q_提案されて取り入れたという「吉村障子」。当初の予定にはなかったものの、そのシルエットの美しさに、今ではすっかりお気に入り。

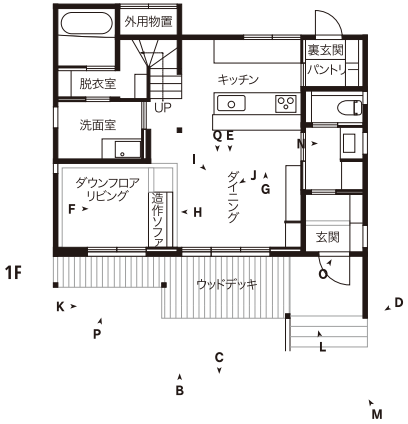


PLAN

DATA

敷地面積 248.48㎡ (75.02坪)
延床面積 107.64㎡ (32.50坪)
1F面積 61.27㎡ (18.50坪)
2F面積 46.37㎡ (14.00坪)

工法／木造在来軸組工法 基礎／ベタ基礎 構造材／柱：スギ、梁：ペイマツ、土台：ペイヒバ 断熱材／天井：吹き込み用グラスウール380mm、壁：高性能グラスウール120mm＋ネオマフォーム30mm、床：ネオマフォーム100mm 主な外装仕上げ／屋根：ガルバリウム鋼板立平葺き、外壁：ジョリパット大壁工法・板張り 主な内装仕上げ／天井：クロス・レッドシダー羽目板、壁：クロス、床：オークフローリング・パインフローリング 開口部／樹脂断熱サッシLow-Eトリプルガラス(アルゴンガス入り) キッチン／クリナップ ラクセラ キッチン熱源／IH クッキングヒーター バスルーム／TOTO サザナ 暖房の種類／温水式床暖房・エアコン UA値／0.31



Comment

Owner: Tさんご家族

Q1_家づくりで一番大切にされたことは？

A_家族を身近に感じ、毎日家に帰りたいようなあたたかみのある住まいを大切にしました。

Q2_こうしておいてよかった、と思ったことは？

A_ダウンフロアのリビング、ダイニングと一体感がありながら空間にメリハリができ、居心地も抜群です。

Q3_このビルダーさんに頼んでよかったことは？

A_実績がありノウハウが蓄積されているところ。環境への的確な判断でバランスのいい住まいになりました。

Builder: 担当／久保好治さん

Q1_この家のコンセプト、ポイントは？

A_暮らしやすさはもちろん、ライフステージに合わせてアップデートできるようにした「余白」。

Q2_この家の見どころを3つに絞るなら。

A_居住性を考えた窓計画、内外をつなぐウッドデッキ、包まれる感覚でくつろげるダウンフロア。

Q3_家づくりで一番大切にしていることは？

A_その人の立場で考えた動線の良さと住み心地です。そのためにも聞き上手になってヒアリングをしっかり行います。

K_「家だけでなく、庭づくりもお任せして本当によかったです。自分たちでは到底ここまでできませんから」とご夫妻。外構と家、敷地全体が調和した端正な仕上がりで大満足。 L_ポーチとウッドデッキの間に取り付けた屋外用の日よけシェード。普段はオープンなテラスも、これを使えばプライベート空間になり、外からの視線を気にせず楽しめる。 M_玄関ポーチを守る、頼もしい庇。雨天でも濡れずに家に入ることができる。 N・O_玄関周りも暮らしに便利なアイデアが満載。荷物を入れる造作棚や手洗い場など、夫妻の「あったらいいな」が実現されている。

